

「ジョークサロン」2024年4月 どのどどいつ 佐藤俊一

■お題「通」

- ①あなた気まぐれ通り雨でも めれたわたしみれん花
- ②来た！と思えば気がつきやいない あんたみたいな通り雨

■お題「嘘」

- ③九十九はホントであっても一滴嘘をそこに垂らせばみんなウソ
- ④いつも嘘しかいわないあんたも年に一度は嘘つかぬ(「四月バカ」だからだってさ)
- ⑤その口に政治屋さんは自分の嘘を鎮めるコウヤク貼るがいい
- ⑥大きなウソはつけないわたし小さなウソからこつこつと
- ⑦嘘つきね今夜もこんのお紺屋の娘 紺のきつねを食べた夜は
- ⑧わかいきつねとよりとみどりのためき並べて迷う春

■お題「貝」

- ⑨二枚貝でもひとつよ舌はつくすカイなし二枚舌
- ⑩江戸前の貝屋の娘に惚れたはいいがヒモがいつでもついてくる
- ⑪寿司屋の娘(こ)アオヤギさんからお手紙着いたホント名前はバカガイと  
——「バカガイ:が正しい学名なんだとさ。
- ⑫かたく口とじなつたが貝に 片口一献すぐゆるみ

■お題「助」

- ⑭備前「助平」天下の名刀 助平オヤジじゃありません
- ⑮ゆるくても上りつらいし下りもホネよ 出した一步が止められぬ(「助けて～」)  
——三重県津市の山道へ入る前の、ごくゆる～いアスファルトの長～い坂道で。行きの上りはまだしも、帰りの下りは足が勝手に交互に出てしまう、笑うしかなかったな。

■北陸新幹線で福井に行ってきました。

- ⑯恐竜がカニを食べてる古代にワープ福井駅前しんかせん!?

